

基本方針 2 県内図書館への貢献

・定量評価（A=100%以上 B=90～100% C=80～90% D=70～80% E=70%未満）

・総合評価（A＝成果を上げている、B＝順調に進んでいる、C＝概ね順調に進んでいる、D＝順調に進んでいるとはいえない、E＝事業の見直しが必要）

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	協議会意見
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等の貸出サービスへの支援	・県民へのPR ・小規模図書館等へのセット図書の貸出 ・テーマ別セット図書の貸出	県内図書館等への協力貸出冊数	13,000冊	○ 協力貸出や市町村立図書館等へのテーマ別図書セット貸出サービス、セット図書長期一括貸出を行った。 ○ 県内市町村立図書館、県立学校の職員が参加する会議や研修会のほか、訪問研修の際などの機会をとらえて相互貸借の利用を呼びかけた。	10,104冊 （前年度実績12,915冊 対前年度比78%）	達成率78% 評価D	○ テーマ別セット図書貸出サービスの利用は増加しているが、セット図書長期一括貸出の利用は前年度54セットから37セットに減少したこともあり、目標を下回った。 ○ セット内容の陳腐化も伸び悩みの一因と考えられるため、限られた予算の中ではあるが長期一括貸出のセット図書の一部を刷新し、リニューアルしたセット図書による利用促進に向けて取り組む。 ○ テーマ別セット図書貸出サービスは県立がんセンター図書室や県内の大学など、市町村立図書館等以外からの利用もあったため、今後も広くサービスの利用拡大につなげていく。	県内図書館等の貸出サービス支援であるが、県立図書館の厳しい資料費が影響して協力貸出やセット貸出が減少している。資料費の確保により最新の質の高い資料を県内図書館等に提供することができることが望まれる。一方で公共図書館以外の大学図書館等からのセット貸出の実績もあり、公共図書館以外の館種にも引き続き展開してほしい。 限られた予算の中で興味を持ってもらえる図書を備えることは、なかなかハードルが高い面もあると思われるがニーズを把握しながら一層の利用促進に努めていただきたい。 需要の有無、何が求められているかの確認を。Xなどでセット内容を紹介して知ってもらうことも必要かもしれません。資料費削減の中、苦戦が続くと思うが頑張ってください。
	県内図書館等からの相談対応	・内容に応じた適切な情報提供 ・相談・打合せなど、様々な機会を捉えた訪問の実施			○ 県内図書館等からの相談や照会について随時対応し、状況に応じて訪問相談の実施や参考となる事例などの情報提供を行った。 ＜電話等による相談・照会等対応＞ ・県内各館の相互貸借送料取扱い（受益者負担の有無等）の状況 ・視聴覚資料の装備の実務 ・詩集等編集著作物の複写利用の取扱い ・全国の電子図書館・電子書籍の導入率 ＜訪問相談実績＞ 県立村上高等学校、県立村松高等学校、県立新潟中央高等学校、長岡市立中央図書館（オンライン）、柏崎市立図書館			○ 訪問相談の事後アンケート結果では高い満足度が得られており、実施の効果があがっている。次年度も相談内容に応じた適切な情報提供に努めるとともに、訪問相談を希望する図書館に限らず、様々な機会を捉えて各館を訪問して情報交換を行うなど、市町村支援の充実を図っていく。	県内図書館からの相談対応は数値目標は掲げていないが、ひとり職場になりがちな学校図書館への相談対応は引き続きニーズが大きいと考えられるので、様々な機会に学校図書館を訪問していただき連携を深めていただきたい。
	高等学校図書館への支援	・高等学校への訪問相談 ・協力貸出の推進	高等学校図書館への協力貸出冊数	500冊	○ 学校向け電子書籍サービスの説明会にあわせて、協力貸出のPRも行った。 ○ 通常の貸出サービスに加え、所在する自治体の公立図書館等が長期休館のため窓口での資料受け取りができない県立学校について、長期休館中のみ資料を学校へ直接送付するサービスを実施した。 ○ 新潟県高等学校図書館協議会が作成した「学校司書がすすめる本」リストの連携展示を実施予定（3～4月）。 ＜訪問相談実績＞※高校分再掲 県立村上高等学校、県立村松高等学校、県立新潟中央高等学校	1,895冊 （前年度実績1,619冊 対前年度比117%）	達成率379% 評価A	○ 協力貸出のPRを続けた結果サービスが学校側に一定程度浸透し、目標を大きく上回ることができた。 ○ 自治体の図書館等が休館中に限り資料を学校へ直接送付するサービスを利用した学校が1校あったが、対象期間終了以降は利用がなかったため、今後は学校側のニーズを更に把握した上で、サービスの提供方法について検討していく。	県内図書館からの相談対応は数値目標は掲げていないが、ひとり職場になりがちな学校図書館を訪問していただき連携を深めていただきたい。（再掲） 限られた予算の中で興味を持ってもらえる図書を備えることは、なかなかハードルが高い面もあると思われるがニーズを把握しながら一層の利用促進に努めていただきたい。（再掲）
県内図書館等職員の人材育成	県内図書館等職員対象の全体研修の実施	・図書館現場のニーズに沿ったテーマの設定 ・階層別研修等の実施 ・オンラインとの併用	全体研修会・研究会の参加人数	350人	○ 新任職員研修会はより多くの参加が得られるよう、集合型とオンラインの併用で開催した。 ○ 関東地区公共図書館協議会研究発表大会も集合型とオンラインの併用で開催し、県内外から2日間で延べ290人の参加があった。 ＜実績等＞ ①新潟県公共図書館新任職員研修会 61人（1日目・会場21人、オンライン10人／2日目・会場22人、オンライン8人） ②障害者サービス研修（第1回）（オンライン） 39人 ③関東地区公共図書館協議会研究発表大会（併・県総合部門研究会）103人（1日目・会場17人、オンライン32人／2日目・会場20人、オンライン34人） ④新潟県公共図書館中堅職員研修会 30人 ⑤障害者サービス研修（第2回）（オンライン） 29人 ⑥新潟県公共図書館児童部門研究会（オンライン） 48人 ⑦障害者サービス研修（第3回） 18人 ⑧新潟県公共図書館専門職員研修会 19人	347人 （前年度実績332人 対前年度比105%）	達成率99% 評価B	○ 一層の研修効果が得られるように、図書館現場のニーズに沿った研修テーマや内容の選定、講師等との調整を行った結果、研修等の参加者アンケート結果では高い満足度が得られた。 ○ 次年度以降も、受講者の知識・経験を考慮しながら、各館の人材育成やサービス向上につながる研修を開催することによって、県内図書館サービス全体の充実を図っていく。	全体研修会・研究会の参加人数は移動時間が削減できるオンライン研修（併用）の導入は評価できる。一方でオンライン参加の場合は参加者同士の交流の時間があまりないことが多いので、各図書館員同士のコミュニケーションを持つ機会も研修の中に取り入れていくことも検討していただきたい。
	県内図書館等職員対象の個別研修の実施（メニュー数4）	・受講者アンケートの実施 ・研修内容の改善	個別研修の実施回数	10回	○ 各館の要望を踏まえて研修を準備・実施し、各館のサービス向上を支援した。 ＜実績等＞ ①地域資料の収集と管理の基礎（南魚沼市図書館、上越市立高田図書館） ②資料の修理や保存の基礎（新発田市立歴史図書館、胎内市図書館、新潟市立黒埼図書館、三条市立図書館、長岡市立互尊文庫、五泉市立図書館） ③初級レファレンス（十日町図書館、田上町地域学習センター） ④郷土レファレンス（胎内市図書館、刈羽村立図書館、長岡市立中央図書館、村上市立中央図書館、新発田市立中央図書館）	15回 （前年度実績13回 対前年度比115%）	達成率150% 評価A	○ 研修受講者アンケートや市町村との意見交換等での要望を踏まえるとともに、訪問館への聞き取りを行い、研修内容をアレンジするなどして、各館に合った実践的な研修となるよう取り組んだ。 ○ 次年度以降も訪問相談とあわせ、個々の市町村の要望に沿った個別研修の更なる充実を図ることで、県内図書館サービス全体の充実につなげていく。	個別研修の実施も県立図書館の職員さんが講師としての力量がなければ開催できないことなので、県立図書館の職員さんの高い専門性は大いに評価すべき事項と考えます。各館に合わせた研修内容のアレンジなど引き続き取り組んでいただきたい。